

青く澄み渡った空のもと、横浜キャンパスでは午前10時からメディア情報学部、13時30分から環境学部の学部説明会が行われました。

メディア情報学部の全体説明会では、はじめに挨拶に立った関良明学部長が、1967年から始まった本連絡会の歴史について触れた後、「本学部は、社会メディア学科と情報システム学科の2学科からなる文理複合型の学部で、高度にネットワーク化、ICT化が進展する社会の中で、情報を巧みに活用する力と知識を身につけます」と学部の概要を紹介。また近年、都市大独自の留学プログラムに参加する学生が増加していることなどが報告されました。

続いて、藤井哲郎教務委員長が、「各学年次に約40単位を目安に取得するのが望ましい。ご自宅に郵送される成績表で確認することができます。お子さんがきちんと授業に出ているかどうか、出席管理システムでチェックしています」と、保護者が知りたいことを分かりやすく解説。矢吹理恵横浜キャンパスキャリア委員長は、「適性検査や就職セミナー、インターンシップの奨励など、大学はキャリア支援策

を十分用意している。お子さんに参加を促してほしい」と訴えました。

短い休憩を挟んで、続いて行われたのは学科・学年別の懇談会。社会メディア学科2年次生の懇談会では、山崎瑞紀准教授らが「どの研究室に入るべきか検討する際、いろいろな先生から直接話を聞くなど、積極的に動いて選択すると良い」とアドバイス。その後、保護者との質疑応答に移りました。

「就職先に海外を選ぶ学生はどの程度いるのか」の質問に、「海外インターンシップなど、大学のサポート体制は整っている」と回答。「他にない都市大ならではの強みとは」との問いには、「ディスカッションやプレゼンテーションを重視しているので、コミュニケーション力の高い学生が多い。他大学との違いは一步先行く行動力」と応じました。

熱心に聞き入り、時にメモを取る保護者の方々の真剣な姿が印象的でした。



全体説明会で教務委員長の藤井哲郎教授が学修面や大学院進学などについて解説



社会メディア学科の学年別懇談会で「コミュニケーション力の高い学生が増えた」と中村雅子教授

只今、取材中!

新聞会は横浜キャンパスを中心に活動しているので、ここでの取材は若干リラックスできます。もちろん誠心誠意取り組んでいます!

社会メディア学科 1年
小山 修祐君(写真)、
同 高比良 星砂美さん



◆ 参加された保護者の方々の感想



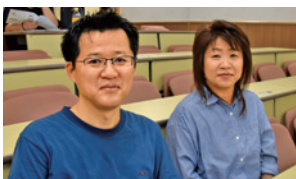
環境創生学科 3年
若井 日翔君のご両親

子どもが一人暮らしをしているのでやはり心配で、大学や学生生活、教職員の雰囲気を感じたくて参加しました。緑が多くて素敵なキャンパスですね。



環境マネジメント学科 2年
加藤 祐樹君のお父さん

家からこのキャンパスまで比較的近いので、妻はよく来ているようですが、私は初めて。学修や研究に集中できそうな、静かで落ち着いた雰囲気だと思います。



情報システム学科 1年
志摩 純輝君のご両親

今日は遠路はるばる長野からまいりました。離れて暮らす息子が、どんなキャンパスで過ごしているのか、気になっていたのでちょうど良いチャンスでした。

この連絡会に来るのは昨年に続いて2度目。カリキュラムや就職支援について聞きに来ました。

環境創生学科 3年

就職について詳しく聞けたので、帰ったら子どもと情報を共有。少しでも手助けしたいと思います。

情報システム学科 2年

毎年伺っています。今年はとくに就職のことが最大の関心事です。庭のピオトープが素敵ですね。

環境創生学科 3年

子どもがまじめにキャリア形成や学修・研究に取り組んでいるのかがどうか確認しに来ました。

環境マネジメント学科 3年

取材にご協力いただきありがとうございます。

等々力キャンパスで13時からスタートした都市生活学部の全体説明会では、今年創設10周年を迎えた同学部について、川口和英学部長が「都市の生活を創造するための企画力、実行力、実践力を備えた人材を育成します。2016年

大学基準協会による認証評価では、そのコンセプトについて高いA評価をいただいています」と紹介。「都市のライフスタイル、デザイン、マネジメント、しくみという4領域に関して、19ある研究室で、実際に企業や研究所などで実績を